



令和7年度「ウインターフェスティバル」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和8年2月7日(土)～8日(日) 泊2日

2. ねらい

- ・そり遊びなど、家族で雪遊び活動を体験することで、冬の自然に親しみ、親子の絆を深める。
- ・さまざまな活動をとおして、他の家族との交流を図る。
- ・動物の革を使った工作を通して、命の大切さについて学ぶ。

3. 参加対象 小中学生とその家族 8家族

4. 応募者 16組 42名

5. 参加者 6組 17名

6. 参加費 3,200円

7. 日程



2月7日(土)		2月8日(日)	
10:30	受付	7:00	起床
11:00	出合いのつどい・荷物移動	7:20	掃除
11:20	交流レクリエーション	8:00	朝食
12:00	昼食・着替え	8:45	退所点検
13:00	オリエンテーション・荷物移動	9:00	レザークラフト ～ペンケースor携帯ケースづくり～
13:15	スノーパラダイス スノーシューハイキング・宝さがし スノーチューブ・かまくら作り【休憩】 チューブそり遊びなど	11:00	片付け・休憩
16:45	スノーランタン作り/着替え	12:00	昼食・感想記入
17:45	夕食	13:00	別れのつどい
18:30	スノーランタン点火&たき火	13:15	解散
20:00	入浴		
22:00	就寝		

II 実施状況

■1日目の活動の様子<2月7日(土)天候 雪のちくもり>

朝からの大雪のため1時間遅れでの開催となったが、参加予定の家族も無事到着され、出会いのつどいがスタートした。

最初の活動は交流レクリエーション。指導員によるレクリエーションで、徐々に笑顔や笑い声がたくさん見られるようになり、あっという間に和やかな雰囲気となった。また、館内工事のため、参加者を絞っての開催となったが、適度な人数で各班とも協力して昼食の準備をされていた。食事中も談笑する姿も見られ、参加者同士の仲が深まりつつある様子が伺えた。

午後は、メインの雪遊び活動。雪がちらついていたが、まずはダム湖えん堤までスノーシュー体験を楽しまれた。続いてスノーフラッグや宝探し。宝探しでは、多くのお宝(チョコや飴)をゲットして、嬉しそうにされていた。

後半はチューブそりやプラスチックそりを使ってのそり遊び。ダム湖下会場で参加者はスリルと爽快感を楽しまれた。

この後は所に戻り、食堂横でスノーランタンの準備を行った。家族ごとにスノーボールでかまくらを作っていた。

夕食後にスノーランタンに点火し、ろうそくの炎に癒される人やたき火でマシュマロを焼く人など、昼間の疲れをリフレッシュしていただいた。

入浴後もレクホールでボードゲームを楽しまれ、無事に一日目を終えることができた。

■2日目の活動の様子<2月8日(日)天候 大雪>

2日目の朝は大雪となり、このまま開催できるのか一瞬不安がよぎったが何とか予定通り続けることにした。

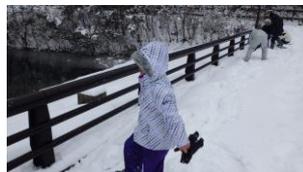
この日の活動は全員で革を使ったレザークラフト。子どもたちはペンケースを、保護者はペンケースか携帯ケースの好きな方を選んで作られた。革や紐を自分で選び、オリジナル作品が完成した。出来上がった作品を首にかけ、満足そうであった。

大雪で帰り道が心配だったため、早めに昼食を食べていただき、感想を記入した家族から退所していただいた。雪で駐車場から車を出すのにひと苦労であったが、職員も手伝い全家族が何とか無事に帰っていかれた。

III 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- 子どもたち、一番楽しかったことはレザークラフトとみんなでご飯を食べたことのように。親だけでは食事の準備や片付けに追われ、なかなかゆっくり子どもと遊ぶことに夢中になれないところを指導員さんにたくさんお手伝いしていただき、子どもと向き合って過ごすことができました。活動のことだけでなく、雪の対応も本当に感謝しています。
- 以前から参加された方の話を聞き、楽しそうだなと思って応募しました。大変な雪の中、工夫して開催していただき本当にありがとうございました。あっという間に二日間終わってしまい、子どももどれも楽しかったと言っていました。またぜひこういうイベントがあれば参加させてください。
- 雪遊びのイベントはあまり参加した経験がなく、親子で楽しむことができ



ました。また、我が子が知らない子と楽しく遊んでいる姿をみて、参加して良かったと思いました。

2. 成果

- ・ 当日の天候が心配されたが、臨機応変に対応し、スノーシュー体験や宝探し、そり遊びなど、予定していた外での活動を全て行うことができた。
- ・ 館内工事のため募集人数を制限したが、2日間とも全員で活動することで、より家族同士の交流が深まったように感じた。
- ・ 夜の活動でスノーランタンやたき火を行ったが、雪の中の火を見て癒されたり、マシュマロを焼いたりとゆったりとした時間を過ごしていただくことができた。

3. 課題

- ・ 主催事業当日に荒天が予想される場合は、参加者の安全を第一に考え、予め実施可否の判断基準を考えておきたい。
- ・ 突然の大雪で、参加者の行き帰りが困難になる場合がある。地元の除雪業者とすぐに連絡をとれる体制を作り、非常事態に備えたい。

